

里山のため池で生き続けるシナイモツゴ

NPO 法人シナイモツゴ郷の会 秦 康之

大崎市のため池で、2022年4月29-30日の2日間にわたり、シナイモツゴの産卵床を水中で観察した。その生態について報告する。

1. 産卵床のある場所

筆者はため池を半周にわたり探索した。発見した産卵床は1地点のみで、この地点に5つの産卵床が集中しており、いずれも沈木の下であった。沈木は2本あり、直径はいずれも10cm程度で、うち1本には4つの産卵床があった。営巣雄の位置を図-1に示す。

底は固い砂地で、水深は30-50cm程度であった。沈木と底との隙間は、概ね5cm程度で、シナイモツゴの鰭も含めた体高が収まる程度に狭かった。シナイモツゴの卵は沈木の下面を中心に産み付けられており、雄が卵を守って沈木の下を移動するため、沈木と水底の間は少し掘られたようにくぼんでいる。

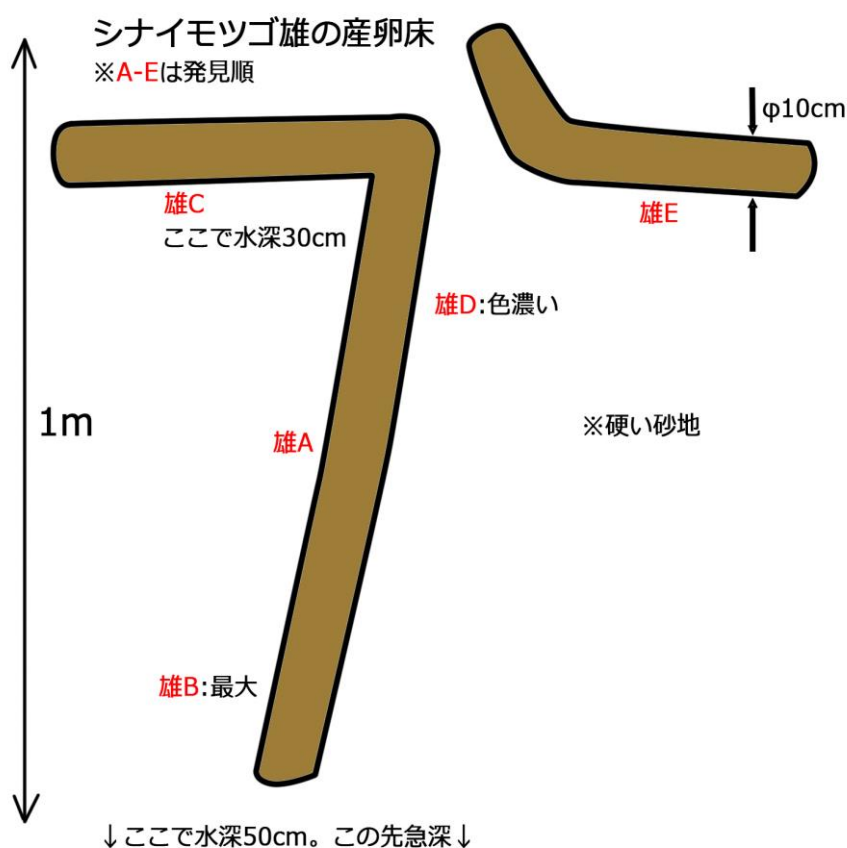


図-1 営巣雄の位置

沈木が水面に向かって跳ね上がっている部分があり、そこは水底とのすき間が大きいですが、そうした場所にも産卵床(雄B)が設けられていた。なお、筆者はウシモツゴにおいても、水底とのすき間が大きい沈木に産卵床が作られること

を確認している。

これら産卵床のある沈木の沖合は急に深くなっていた。この付近にはややまとまった浅場があり、日当たりも良好で水温が上がりやすい。水面に近く酸素にも恵まれ、産卵に適した場所と考えられる。

2日間のうち、初日は曇から雨、その晩から翌朝にかけては降雪があり、4-5cm程度積もっていた。2日目は晴れて雪は容易に溶けた。水温は産卵床のある場所で初日は16.4℃、2日目は15.1-17.6℃であった。透視度は50-70cm程度であった。

2. 産卵床間の位置関係

雄A、B、C、Dの巣は同じ沈木の下にあり、それぞれの縄張りは30cm程度であった。各雄は基本的にその縄張りの中に大人しく収まっているが、たまに他の雄の縄張りに入ってしまうことがあり、この場合は激しく追い払われる。

雄Dよりもやや浅場(水深30cm程度)にある別の沈木では、雄Eが営巣していた。Eが営巣している沈木の下は、3-4cm程度ととりわけ狭かった。



図-2 雄Aの産卵床 一部に発眼していない卵も見られる

いずれの雄も婚姻色はかなり抜けていて、各鰭の先が黒ずんでいる。卵はいずれも発眼卵であったが、雄Aの産卵床の一部に、新しいと思われる卵も見られた(図-2)ので、同じ産卵床においても産卵は累次に渡って行われるようである。

3. つがいの形成

正午頃、産卵床を守っていた雄のうち1匹(雄A)がペアリングしているのを

確認した。図-3の大きい方が雄で、縦に黒い帯が入っている小さいのが雌である。

しばらく観察したが、雌は何かが気に入らなかったとみえ、遁走した。雄も後を追ったが連れ戻すことはできず、再び卵を守り始めた。残念ながらペアリングはその後観察されなかった。

最も沖合に営巣している雄Bは、巣を離れて沖合に行く頻度が高く、その間、他のシナイモツゴ(営巣雄ではなく卵喰い)や、ヨシノボリ属の一種に卵を喰われていた。沖合に出向くのは雌を誘引するためと想像されるが、透視度がよくないため、その様子は実際には観察できなかった。雄Bは夕方になると沖合への徘徊をやめ、産卵床にいることが多くなった。



図-3 つがいを形成した雄A



図-4 追星(雄B)

4. 卵を守る雄の行動

産卵床を守る雄は、撮影者が近づいても、基本逃げない。逃げたとしても必ず戻ってくる。その後は、卵を守ることに専念する。

コイ科魚類においては繁殖期の雄に追星が出る種が多いが、本種にも眼の下か

ら顎にかけて白い追星が発現する(図-4)。これは雄どうしの闘争や、卵を狙いに来る他個体や他種の追い払いのための鎧のような機能を果たす。

産卵床への侵入者はシナイモツゴとヨシノボリ属の一種で、いずれも卵を喰おうとする。卵を狙うシナイモツゴは色が薄く、体側に縦条がなく抱卵雌ではない。これが産卵床に近づくと、雄は激しく追い払う。その追い払いは極めて俊敏である(図-5)。

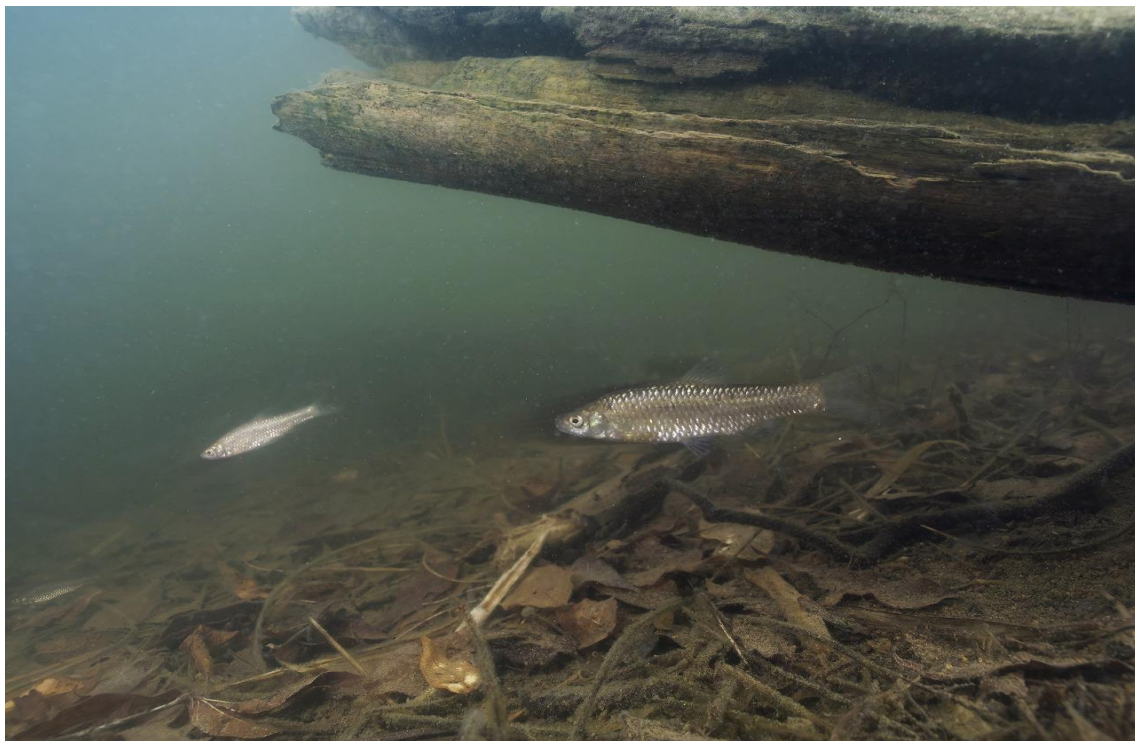
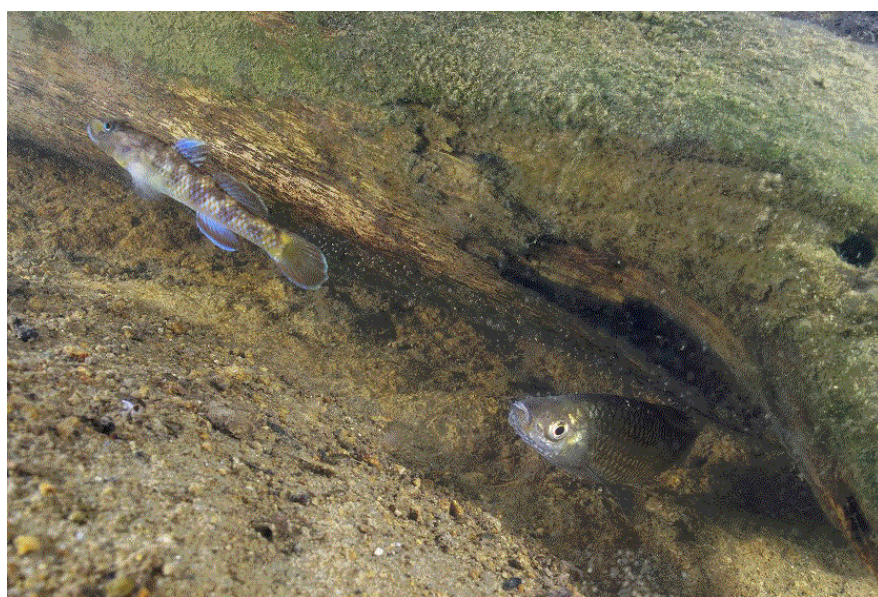


図-5 他の個体が接近すると激しく追い払う(雄B)

ヨシノボリ属の一種は沈木の上側に潜み(シナイモツゴ雄からは見えない位置)、隙を見てひょいと頭を伸ばし、沈木下面の卵を喰う。これを見つけると、雄は沈木の下から出てヨシノボ



図

図-6 ヨシノボリ属の一種を追い払う(雄D)

リを追い払う(図-6)。しかし、再びヨシノボリは沈木上面に張り付いて、卵をうかがう。

シナイモツゴの雄は、下から卵をつつくような動作を頻繁に見せる。死卵を除去するなどして、卵を水棲菌などから守っているものと考えられる(図-7)。



図-7 卵の世話をする(雄B)